

技術委員会 各種部会の設置 ※部会員は5月技術委員会にて選任予定

1. 強化部会
2. ユース育成部会
3. 指導者養成部会
4. 普及部会
5. フットサル・ビーチサッカー部会

部会名	技術委員会 強化部会	
部会長	山本昌邦	技術委員・ナショナルチームダイレクター
所管事項	日本代表チームの強化に関する事項	
2年間で取り組む事項		
<ol style="list-style-type: none"> (1) 代表チームの編成・強化 (2) コーチングスタッフ要件整理 (3) コンペティションカレンダーの最適化 (4) ポストユース施策の検討・実施 (5) データ分析機能の強化 		

部会名	技術委員会 ユース育成部会	
部会長	城和憲	技術委員・ユース育成ダイレクター
所管事項	ユース年代の選手育成・強化に関する事項	
2年間で取り組む事項		
<ol style="list-style-type: none"> (1) ユース代表チームの編成・強化 (2) コーチングスタッフ要件整理 (3) 17歳トップデビュー選手育成策の検討・実施 (4) ハイパフォーマンス環境の整備 (5) タレント発掘システムの確立 (6) トレセン、アカデミー活動の強化 (7) FAコーチの配置、連携、協働 (8) 日常のゲーム・トレーニング環境の改善 (9) 学校部活動地域移行への対応 		

部会名	技術委員会 指導者養成部会	
部会長	木村康彦	技術委員・指導者養成ダイレクター
所管事項	指導者の養成に関する事項	
2年間で取り組む事項		
<ol style="list-style-type: none"> (1) トップ指導者の育成(UEFAとのライセンス互換の取り組み等) (2) 講習・研修会のブラッシュアップ (3) チューターのレベルアップ (4) 登録制度・システムの改定 (5) 登録指導者へのサービス充実 (6) 指導者への啓発(暴力根絶・コンプライアンス等) 		

- (7) アジア関連活動(指導者派遣)
- (8) 女性指導者の増加の取り組み(トップからグラスルーツまで)
- (9) 日本サッカー指導者協会と連携

部会名	技術委員会普及部会	
部会長	中山雅雄	技術委員・普及ダイレクター
所管事項	キッズ～シニア年代までの普及に関する事項	
2年間で取り組む事項		
<ul style="list-style-type: none"> (1) キッズ巡回指導の活性化 (2) フェスティバルの推進 (3) キッズリーダー養成の改革 (4) スモールサイドゲームの推進、浸透 (5) 小学校、中学校体育サポートの充実 (6) 普及事業の取り組みへの体制整備と情報連携（都道府県での普及推進） (7) 学校部活動地域移行への対応 (8) サッカー休眠層にむけたサッカー回帰の取り組み（主にシニア、ウォーキングフットボール等） (9) 女子委員会と連携した女子普及の推進 		

部会名	技術委員会 フットサル・ビーチサッカー部会	
部会長	小西鉄平	技術委員・フットサルテクニカルダイレクター
所管事項	(1) フットサルに関する事項 (2) ビーチサッカーに関する事項	
2年間で取り組む事項		
<ul style="list-style-type: none"> (1) 代表チームの編成・強化 (2) コーチングスタッフ要件整理 (3) サッカーとフットサル・ビーチサッカー双方向の交流促進 (4) Fリーグ、女子Fリーグとの協働 (5) フットサル育成事業の推進 (6) 女子フットサル選手の育成・強化 (7) フットサル指導者制度の確立 (8) ビーチサッカー地域リーグを利用した強化トレーニングの実施 		

医学委員会 各種部会の設置 ※部会員は5月の医学委員会にて選任予定

1. Jリーグチームドクター部会
2. アンチ・ドーピング部会
3. 栄養サポート部会
4. サーベイランス部会
5. スポーツ救命部会
6. トレーナー部会

部会名	医学委員会 Jリーグチームドクター部会	
部会長	大塚一寛	医学委員/FC 東京/あげお愛友の里
所管事項	(1)選手の健康管理、外傷障害予防及び救急処置に関する事項 (2)トレーナーに対する上記(1)の教育及び普及に関する事項 (3)Jリーグ主催の試合及び大会における医事管理に関する事項 (4)Jリーグチームドクター会の開催に関する事項 (5)Jリーグチームドクターとの意見交換や連携に関する事項	
2年間で取り組む事項		
(1)トレーナーだけでなく、より多くのチーム・リーグ関係者に救命救急処置を普及させる。 (2)脳振盪ガイドラインに沿った適切な運用を施す。 (3)アンチ・ドーピング教育の啓発により、Jリーグでのドーピングフリーを目指す。		

部会名	医学委員会 アンチ・ドーピング部会	
部会長	土肥美智子	医学委員/JFA 診療所
所管事項	アンチ・ドーピングに関する事項	
2年間で取り組む事項		
(1)世界アンチ・ドーピング禁止表やアンチ・ドーピングの正しい知識を選手、指導者、選手支援者へ提供し、ドーピング違反と選手の健康被害を回避する。 (2)世界大会に直結するすべてのリーグでのアンチ・ドーピング活動を行い、日本サッカーがドーピングからクリーンであることを示す。 (3)指導者養成講習会、リーグ新人研修会、各リーグチームドクター会、アカデミー等での講習会やホームページを利用してドーピングに関する教育や情報を提供する。 (4)NF Representative やスポーツファーマシストの育成などアンチ・ドーピング活動に係る体制の整備を行う。 (5)JADA 公認の承認 Educator を確保し、あらゆるカテゴリーでの教育・啓発活動を行う。 (6)FIFA、AFC、JADA、IOC と協力連携し、ドーピングに関する情報の迅速な収集と適切な対応を行う。		

部会名	医学委員会 栄養サポート部会	
部会長	鈴木朱美	医学委員/山形大学 整形外科学講座
所管事項	栄養に関する事項	
2年間で取り組む事項		
(1)JFA 栄養ガイドラインの改訂		

(2) 育成世代から各年代代表チームに至るまでの栄養サポートの実施

■ 衛生環境が悪い場所での栄養相談等の実施等

(3) 育成世代への教育

■ 管理栄養士、トレーナーからの講義

部会名	医学委員会 サーベイランス部会	
部会長	武富修治	医学委員/東京大学大学院 医学部整形外科学
所管事項	(1) 外傷障害予防を目的としたサーベイランス実施に関する事項 (2) 選手に健康被害を及ぼすリサーチに関する事項	
2年間で取り組む事項		
(1) 外傷障害予防を目的としたサーベイランス「JFA-Survey」を拡充する。 (2) 選手・観客の安全性に関する調査を行う。 (3) ヘディングや脳振盪が脳へ与える影響について検証する。 (4) 選手の医学的情報管理の安全性について検討し、医学情報のデジタル管理を実用化する。		

部会名	医学委員会 スポーツ救命部会	
部会長	武田聡	医学委員/東京慈恵会医科大学 救急医学講座
所管事項	救急救命に関する事項	
2年間で取り組む事項		
(1) スポーツ救命講習会および簡易講習会「JFA+PUSH講習会」の定期開催 (2) スポーツ救命講習会および簡易講習会「JFA+PUSH講習会」の講師/インストラクターの養成 (3) サイドラインメディカルチーム充実に向けたサポート (4) スポーツ中の突然死や医療事故を減らすための社会貢献活動		

委員会名	医学委員会 トレーナー部会	
部会長	前田弘	医学委員/日本代表チーム アスレティック トレーナー統括ダイレクター
所管事項	トレーナーに関する事項	
2年間で取り組む事項		
(1) 帯同トレーナー（各カテゴリー代表・育成事業）の資格/要件の検討 (2) 帯同トレーナー（各カテゴリー代表・育成事業）の推薦 (3) トレーナーの普及・育成活動の立案・実施 (4) その他トレーナーに関する事項		